

大網ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin



- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター
TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
- 事務所：〒299-3251
大網白里市大網450-6 ユアサビル2階
TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
- 会長：小高 徹 幹事：高山 義則
- 広報・公共イメージ向上委員会
委員長 高野 祐二・会報担当 石田 英世

2022年10月19日(水)
第24巻第 13号

通巻第1000号

<http://www.oamirotary.com>
E-mail: rc@oamirotary.com



本日の例会

点 鐘 会長 小高 徹
ソング 手に手つないで
会長挨拶 会長 小高 徹
幹事報告 幹事 高山 義則
プログラム

卓話 米山学友 シュレスタ・ラジブ様

ニコニコBOX

小高会長・高山幹事

先日の地区大会感動いたしました。
ありがとうございました。

四之宮 由己 会員

小倉ガバナー、地区大会お疲れ様でした。

星野 実 会員

本日は、小倉ガバナー・平野ガバナー
補佐、お疲れ様です。

私事ですみませんが、昨日10月10日
結婚45周年を迎えました。

良くもったなあと思ひニコニコです。

例会日	10月11日	9月28日
会員数	31	31
出席	16	15
欠席	15	16
M U	0	4
免除	6	6
出席率	70.97%	80.65%

小倉純夫ガバナー公式訪問

2022年10月11日(火) 於：茂原卸商業団地会館 (ホスト：茂原中央 RC)



茂原中央 RC 会長挨拶

武田 大輔 様



みなさんこんにちは。先週はとても寒い日が続き今週はまた気温が上がり服装選びも大変な時期だと思います。また風邪などひかないようにお気を付け下さい。改めまして本日は大変お忙しい中、国際ロータリー第2790地区ガバナー小倉純夫様、平野ガバナー補佐、織田信幸地区幹事長ようこそおいでいただきました。また本日、合同例会ということで大勢お集まりいただいた大網ロータリークラブ様とともに心より歓迎申し上げます。賑やかに有意義な時間となればと思います。

本日の懇談会で小倉ガバナー様と大変有意義なお話をさせていただきました。この懇談会でのお話をクラブの例会等で報告させていただき、より良いクラブづくりをしていけたらと思います。

さて、茂原中央ロータリークラブのお話を少しさせていただきますと、当クラブは1993年の発足から来年30周年を迎えます。今年度 会員数27名、目標の30名に向かって元気で楽しくをモットーに歩んでおります。また先輩方にも恵まれ和気あいあいに色々な活動をしています。大網ロータリークラブ様にも親睦活動、交流を通してとても身近に感じさせていただき本当に恵まれたと感謝しております。私自身も入会6年目でありまだまだ勉強させてもらいながら成長し諸先輩方が築いてきたもの壊さないようにより良いクラブを目指していけたらと思います。本日は小倉ガバナー様に貴重なお話をいただけるとのことなので会長挨拶は以上とさせていただきます。ありがとうございました。

国際ロータリー第2790地区 ガバナー 挨拶

小倉 純夫 様



2022~2025 国際ロータリー第2790地区戦略計画(草案)

<我が地区のリソース>

当地区は首都圏の一角にありながら、海岸線等の美しい水辺と緑濃き里山の豊かな自然に恵まれています。東京近郊の都市部と沿岸部に個性の差はあれども、クラブはそれぞれ多様性を発揮して、地域社会のリーダーとして活動しています。地区リーダーはロータリーの目的に従って、地域社会と国際社会に良い変化をもたらす活動に取り組んでいます。ロータリアンは、地区ビジョンを共有しクラブ戦略目標に従って、地域社会に元気と勇気を創出します。

米山記念奨学金授与式



米山奨学生 ニルシカさん

10月誕生日祝い



<茂原中央ロータリークラブ>



関谷会員

<大網ロータリークラブ>

齊藤敏夫会員	S18年10月	2日
関谷清一会員	S23年10月	9日
板倉孝雄会員	S28年10月	11日
清宮満巖会員	S21年10月	16日
板倉達夫会員	S10年10月	20日
矢部慎一会員	S27年10月	28日

皆出席表彰



高山会員・大越会員



吉原会員・高野会員

我が地区のビジョン宣言

私たちは、ロータリーの「奉仕の理念」に基づき、ロータリーを楽しみながら、地域社会でそして世界で、持続可能なより良い未来を目指して、奉仕を実践し、行動して行きます。

<地区戦略目標>

- 1 会員基盤の向上
- 2 奉仕活動の推進
- 3 公共イメージと認知度の向上
- 4 ロータリー財団・米山記念奨学会への協力と活用

<地区行動指針>

- 1 クラブを元気にするために、DEI文化を尊重しながら会員基盤を拡充しよう
- 2 地域社会の将来を担う青少年育成活動に取り組もう
- 3 中核的価値観に従って行動し、ロータリーの公共イメージを向上させよう
- 4 地域及び国際社会のニーズに沿った奉仕活動を考え、手に手をつなごう

これからのロータリーを考える

～本年度 RI テーマと地区活動方針について～

- 1 本年度 RI テーマと地区活動方針について
 - ・2022年度 RI 会長ジュニア・ジョーンズ氏(RI初の女性会長)は、本年度テーマを IMAGINE ROTARY (イマジン ロータリー) として、「より良い未来をイマジン(想像)し、世界により良い変化を！」と呼びかけた。これを受けて本年度地区スローガンとして次のとおり決定。「ロータリーの仲間との信頼を繋ぎ、千葉から世界を変えて行こう！」
 - ・従来考えていた地区スローガン「ロータリーを楽しみながら、地域で、そして世界で良いことをしよう！」は、第2スローガンとする。
 - ロータリーの基本は親睦(fellowship)と奉仕(service)
- 2 ガバナーの任務・役割について
 - ・クラブの活性化、元気なクラブ作りの支援に尽きる→その為の DLP, CLP の活用→クラブ、会員が主役→クラブの課題とその分析→解決策の検討(ビジョンと行動計画)・グループ再編問題、ガバナー補佐任命問題を通じて考えたこと
 - 地区とクラブとのコミュニケーションの在り方、信頼関係の再構築
 - 業奉仕の大切さ(四つのテスト)クラブの例会における親睦活動の大切さの再確認
 - 例会は心のオアシス(佐藤千寿氏)
 - ・コロナ禍の中でのロータリー活動(パンデミックの教訓)
 - 2年半に及ぶ新型コロナウイルスの感染拡大→収束の見通し立たず(第7波の到来)→クラブ例会・行事等の中止(又はオンライン化)→親睦奉仕活動の停滞、会員の減少→最近の感染者激増→コロナとの共生(会員の支援例会・親睦活動の在り方の再検討)
- 3 ロータリーの歴史を振り返る
 - ・1905年→親睦と相互扶助から出発(一業種一会員制)→社会奉仕の考え→四(五)大奉仕へ
 - ・ロータリーとは、職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集り(ロータリーの友6頁)
 - ・ロータリーの目的、理念→「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」「奉仕の理念」とは→他人を思いやり、他人の為になることをしようとする考え方セントルイス大会決議23-34ロータリーの奉仕の基本理念の確立
 - ・ロータリーの魅力とは、一つの人生哲学「入りて学び出でて奉仕せよ」(Enter to Learn, Go forth to Serve)
 - 例会(親睦)→出会い、交流(切磋琢磨)→人間としての成長=信用→安定した経営奉の実践
 - ・日本のロータリーは周回遅れか?(ガラパゴス化) Vocational Service(職業奉仕)に対する考え方の違い⇔「奉仕の理念」
- 4 ロータリーの変化とその対応
 - ・2001年:一業種一会員制の撤廃 2013年:職業のない人の入会資格を認める
 - ・ロータリーのライオンズ化(団体寄付中心) I serve から We serve へ
 - ・2016年の規定審議会一柔軟性の採用
 - {例会と出席}{会員身分} 標準ロータリークラブ定款の条項に従わない規定又は要件をクラブ細則に含めることができる
 - ・2019年規定審議会 更なる柔軟性の確認
 - メイクアップ期間を同じ年度内に拡大、職業分類の制限撤廃、ローターアクトクラブに RI 加盟を認める
 - ・何故ロータリーは柔軟性を採用したのか?→RIの危機感(会員の高齢化、減少)→北米、日本等での会員の減少とインド、ヨーロッパ、韓国での会員増加(別紙)→悪循環か?
 - RI と TRF の一体化→{いずれライオンズクラブとの合併か?・地域に応じた自治権、裁量権を認める方阿?}

5 これからのロータリーについて

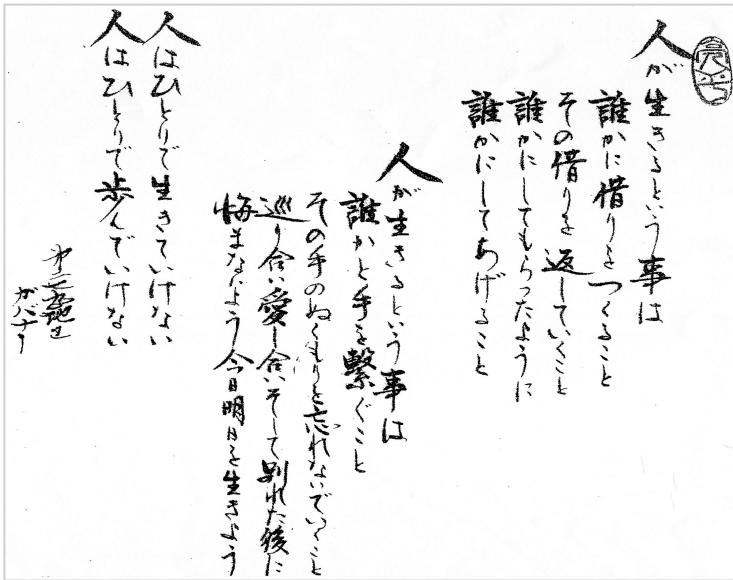
- ・ロータリーの目的, 四つのテスト, 中核的価値観(親睦, 奉仕, 高潔性, 多様性, リーダーシップ)は不変
- ・ロータリーのビジョン声明, 行動計画, DEI(多様性, 公平性, 包摂[生])の提唱
- ・未来の形成委員会(SRF)→地区制度の見直し→内容は不明確(北米の会員の急減が実施の理由か) 2つのパイロット地区で実施(2022年4月規定審議会決議)

6 アフターコロナの新しいロータリーはどうあるべきか

→例会及び奉仕活動の在り方クラブの多様化→衛星クラブ, 女性だけのクラブ, 若者や老人だけのクラブ等元気なクラブ作りの支援のための方策→元気なクラブとは?→CLPの活用

- 1、クラブの中長期目標とその実現のための行動計画の策定(毎年の見直しとチェック)
- 2、会員同士の交流を深める(クラブ内のオープンなコミュニケーション・DEIの浸透を図る)
- 3、会員の積極的参加を促す(例会, 奉仕活動)財団の補助金を利用して会員全員で奉仕プロジェクトを策定し, 奉仕の意識を養い, それを実行する→参加したくなる例会と奉仕活動
- 4、会員の増強(退会防止)若い人達の入会が無ければロータリーは消滅する
- 5、クラブの若手リーダーの育成→クラブのロータリー研修の実施
- 6、ITの推進(コロナ禍での例会の在り方を再考する)

最後に



【合同クラブ協議会】

大網 RC 小高 徹 会長 挨拶

みなさんこんにちは。

ただいまご紹介いただきました今年度、大網ロータリークラブ会長を務めさせて頂いております。小高 徹と申します。宜しくお願ひ致します。

本日は、国際ロータリークラブ第 2790 地区 ガバナー小倉純夫様、地区幹事長 織田信行様、第 7 グループガバナ補佐様、平野一隆様 本日は、ようこそおいで下さいました。

そして大網ロータリークラブの親クラブであります、茂原中央ロータリークラブの皆様方には、大網ロータリークラブ設立以来長きにわたり友好関係を築かせていただいております。これからも親睦ゴルフや様々な地域活動を通しましてお付き合いの程、宜しくお願ひ申し上げます。

また、先日行なわれました地区大会においては、初日、2 日目と参加させていただきましたが、初日の会場に於いては、小倉ガバナー自らのお出迎えに感激し、RI 会長代理の柳生様のお話に感動し、渡邊真知子さんの歌声に魅了され、高橋英樹さんのユーモア溢れる講演に拍手喝采、そして、「千葉から、世界を変えるフェスタ」は、各地区の産物が出品されるなど、今までに無い、地区大会であったと思ひます。本当にすばらしい地区大会でありました。

地区大会終了後でもあり、小倉ガバナーにおかれましては、大変お疲れかと思ひます。その様な中ではありますが、本日は宜しくお願ひ致します。

それでは只今より、茂原中央ロータリークラブ・大網ロータリークラブの合同クラブ協議会を開催いたします。

質疑 応 答



当クラブの社会奉仕活動の一環でもあります、子ども食堂(宣伝チラシ)につきましては、特に皆様の関心が高く、評価を頂きました。

<取り組みの経緯について> 大越 将司 会員より

市との共同事業で子ども食堂を行っております。ロータリークラブより資金源や食材等ご支援頂き、市内の中学生以下の子供達にお弁当や食材を無料で配布させて頂いております。この活動を周知する上で、大網白里市に大網ロータリークラブさんから支援を頂き、無料でやらせて頂く事を最初にお話しましたところ、今でも忘れられないのが、市の担当職員の方が「ロータリークラブって何ですか?」と尋ねられて来られた事です。市の職員がロータリークラブを知らないという事にとってもショックを受けました。

そこでロータリークラブの宣伝も兼ね、市に新聞折込のチラシをお願いし、裏には大網ロータリークラブの活動紹介などを載せたい旨お話した所、賛同頂きやらせて頂いております。



それでは、本年度大網ロータリークラブの運営方針、目標、特徴、課題等について発表させていただきます。

「運営方針」

現在当クラブは、会員数 31 名、男性 29 名、女性 2 名です。年齢構成は、40 代 2 名、50 代 3 名、60 代 9 名、70 代以上 17 名と平均年齢 68.9 歳となります。

昨年、一昨年とコロナの影響でクラブの例会場が公共施設の関係で使用できない等と思う様なクラブ活動や例会が開催できない状況でありましたが、本年度は、コロナの影響を鑑みながらではありますが、公共施設の使用が可能な限り例会開催を行なう方向であります。月 4 回開催いたしまして年間 48 回を予定しております。

「クラブ目標」

地域に密着した活動として子供食堂支援・会長エレクトであります大越会員の事業場に於いての子供食堂への協力（今年度は年 4 回開催）そのほか、お米、小麦粉、卵、野菜、果物といった会員からの食材の提供を致します。4 年前から、この子供食堂支援を行なっております。コロナ前に於いては食材をご家庭までクラブ会員が食材を届けるといった形で行なっておりましたが、コロナの影響により現在は、ドライブスルー方式のお弁当の手渡し方式となっています。この様な活動が目にとまり、生成食品宅配の大手、生活共同組合連合会、通称パルシステムがフードロス無くす為、今年度から食材を提供していただける運びとなっております。

また、国際奉仕活動に於いては 8 年前よりスリランカへの食糧支援をおこなってまいりました。本年度も支援して行きます。また、ネパール識字率支援も力を入れて継続して参ります。

「クラブの特徴」

当クラブは経験豊富な先輩方が多く在籍しておりその行動力は頼もしい限りであります。また、クラブ内はアットホーム的であり、家庭的な雰囲気があり、歳の差はあまり感じさせないクラブだと思えます。この様なクラブ会員が、生き生きと元気で例会に出席する事は、ロータリー最大の職業奉仕であり、クラブ奉仕であり、社会奉仕であると私は考えます。

「クラブにおける課題」

大網ロータリークラブも、設立から 22 年間の月日が経ちましたが、様々なクラブ活動を行なってまいりました。平均年齢も 70 歳を迎えようとしております。若い方たちの会員増強が望まれます。70 歳代の方々が多くおられる関係上、IT 関係に於いては利用が中々思うように進まないのが現状です。

会員の意識向上にも今年度中には、My ROTARY の登録を進め活用方法等の勉強会を実施して参ります。

先ほど、ガバナー懇談会において中長期計画の必要性、ご指導・アドバイスを頂きました。早急にクラブに持ち帰りまして中長期計画特別委員会を立ち上げ CLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）を参考に、3 年後、5 年後、10 年後の戦略計画立案、今年度中には大網クラブの目標を創り上げ次年度会長にお渡しいたします。

以上、クラブ運営方針・目標・クラブの特徴・課題の発表を終わります



続いて、元気なクラブになるための具体的な方策も会長の私から発表いたします。

元気なクラブになるための具体的な方策は

1. 例会に出席する事
2. 例会に出席し顔と顔を合わせて会話する事
3. 会話を通じてふれあうこと
4. そして自分が元気であること

私がなぜそう感じたかをお話いたします。

ここからは、原稿がありません。アドリブでお話いたします。

2022-2023 年度、クラブ会長になりまして初例会でした。「クラブ会長様」というお手紙をいただきました。内容は、「新役員の皆様スタートしようという時期に、欠席という事は大変心苦しいのですが、新型コロナの感染急拡大のため、私の年齢や持病等の事があり当分の間、例会欠席とさせていただきます。尚、現在は身体的には支障はありません」という、お手紙をいただきました。当クラブチャーターメンバー 86 歳の会員からのお手紙でした。例会に於いて会員の皆様には、諸事情報告し、当分の間は出席できない理由を報告いたしました。

その後、新年度スタートから 7 月、8 月、9 月経過、今月 10 月 5 日、先週久しぶりに例会に出席して下さいました。クラブの皆さんは顔を見るや、（久しぶり、〇〇さん、元気かい？大丈夫かい？・・・）だれもが、声をかけられ、うなずき、私もすぐ迎え入れ「こんにちはお元気でしたか？」とお声をかけますと「なんか、ここに来るとほっとするな一、みんなの顔をこうして見ると元気になるわい」と、一言、いつも座れる席に何も言わず腰を掛けました。

ご本人のロータリーに対する気持ち、クラブの皆様が心温かく迎えられる事に、「これこそがロータリーを元気」にする源なのではないでしょうか。

1. 例会に出席する事
2. 例会に出席し顔と顔を合わせて会話をする事
3. 会話を通じてふれあうこと
4. そして、自分が元気であること

以上、元気なクラブになるための具体的な方策の発表を終わります。

